

## 会社の概況 (平成29年9月30日現在)

商号 信越ポリマー株式会社  
(Shin-Etsu Polymer Co.,Ltd.)  
本社所在地 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地  
設立年月日 昭和35年9月15日  
資本金 11,635,953,759円  
従業員数 1,038名 (連結4,216名)  
支店・営業所 大阪支店、名古屋支店、福岡支店、  
仙台営業所、広島営業所、札幌営業所  
工場 東京工場、児玉工場 (以上、埼玉県)、  
南陽工場 (山口県)、塩尻工場、  
長野分工場 (以上、長野県)、  
糸魚川工場 (新潟県)

株式の状況  
発行可能株式総数 320,000,000株  
発行済株式総数 82,623,376株  
株主数 8,784名

### 株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7970

いいかぶ


検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media) についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
剰余金の配当基準日 3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)  
定時株主総会 毎年6月  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社  
公告方法 電子公告 (<http://www.shinpoly.co.jp/>)  
なお、やむを得ない事由によって、電子公告  
によることができない場合には、日本経済新聞  
に掲載して行います。

### 株式に関するお手続き

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取方法 の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱 できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 ブラネットブース (株式会社み ずほ銀行内の店舗) でもお取扱 いたします。
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お 問合せ先・各種手続お取 扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必要 があります。

### 単元未満株式買増・買取のご案内

当社では、単元未満株式 (1株から99株まで) の買増制度・買取制度を導入しておりますので、ご利用ください。  
お手続の詳細は、上記記載のお取扱店にお問い合わせください。

# ShinEtsu

## 信越ポリマー株式会社

## 第2四半期 第58期 報告書

平成29年4月1日~平成29年9月30日



## 信越ポリマー株式会社

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-9

電話 (03) 5289-3712

ホームページアドレス <http://www.shinpoly.co.jp/>



UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

証券コード:7970



代表取締役社長  
小野 義昭

主力事業と新規ビジネスを両輪とし、  
変化するお客様のニーズに三位一体の体制で応え、  
持続的成長を目指します。

■ 当中間期の事業概況について

半導体業界の活況が追い風となり、自動車業界の需要も堅調に推移して、  
増収増益を達成。

当中間期は、自動車関連入力デバイスと半導体関連容器の出荷が好調に推移する  
など、前年同期比で増収増益を達成することができました。ただ、前中間期が円高  
基調の影響を受けたことや、不採算事業からの撤退などによる売上高の落ち込みが  
あったことを考慮すれば、実質的に十分な増収とまではなりません。一方、  
利益につきましては、不採算事業からの撤退の効果や海外生産拠点での高い操業率  
と為替効果がプラスに作用し、原材料調達の見直しや工場の合理化にも積極的に取  
り組んでいることが奏功し、増益につながっております。

当中間期を通じて自動車関連入力デバイスと半導体関連容器を始めとした主力製  
品については、「営業」「開発」「生産」の三位一体による取組みが大きく貢献し好  
調でした。当社が扱うこのような機能型製品に対する、お客様のニーズは日々変化  
しています。その変化に対応した製品を、より早く開発・提供できるように体制を  
整えた結果、300mmウエハー出荷容器等が市場でお客様の評価を得てトップシェ  
アを獲得しております。

■ 中長期の事業方針、戦略、見通しについて

主力事業の強化と新規ビジネスの創出が重要課題。  
M&Aも選択肢の一つです。

中長期での当社の第一の課題は、主力事業の一層の強化で  
す。そのためには、三位一体による対応をさらにスピード  
アップし、常にどこよりも早くお客様のご要望に応え、競争  
を勝ち抜くことを目指します。

第二の課題は、主力事業とともに当社の両輪となるべき新  
規ビジネスの創出です。足元では、着手したばかりのテー  
マがあれば、試作品に対しお客様の評価をいただく段階にま  
で進んでいるテーマもあり、いくつもの開発プロジェクトが同  
時進行しています。具体的なテーマは、主に半導体関連、情  
報通信関連、それに医療関連です。今後は、有望なテーマの  
絞り込みにより、早期の新規ビジネスの創出に努めます。ま  
た、外部資源の有効活用も重視し、M&Aを含む業務提携案  
件の精査を行っております。引き続き、当社が持つ技術の周  
辺分野に即して、当社とのシナジー効果が見込めることを重  
視して、世界的に探索・調査を進めてまいります。

■ 株主配当について

年間配当予想は前期と同額の1株当たり12円と  
させていただきます。

2018年3月期は通期で増収とし、営業利益の5期連続の  
増益も達成し、さらに積極投資による持続的成長を実現して  
いきたいと存じます。

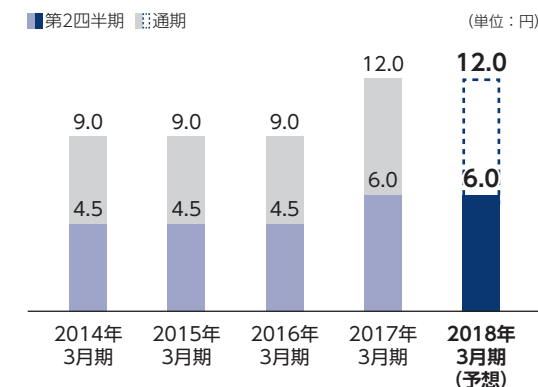
利益還元については、基本的に安定的な配当を継続する方  
針です。短期的な業績にばかり連動させるのではなく、当社  
の中期的な成長という視点も踏まえた配当政策としてまいり  
ます。

今後の経営環境には不透明な要素もありますが、引き続き、  
「営業」「開発」「生産」の三位一体で、業績と企業価値のさ  
らなる向上に取り組んでまいります。株主の皆様におかれま  
しては、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

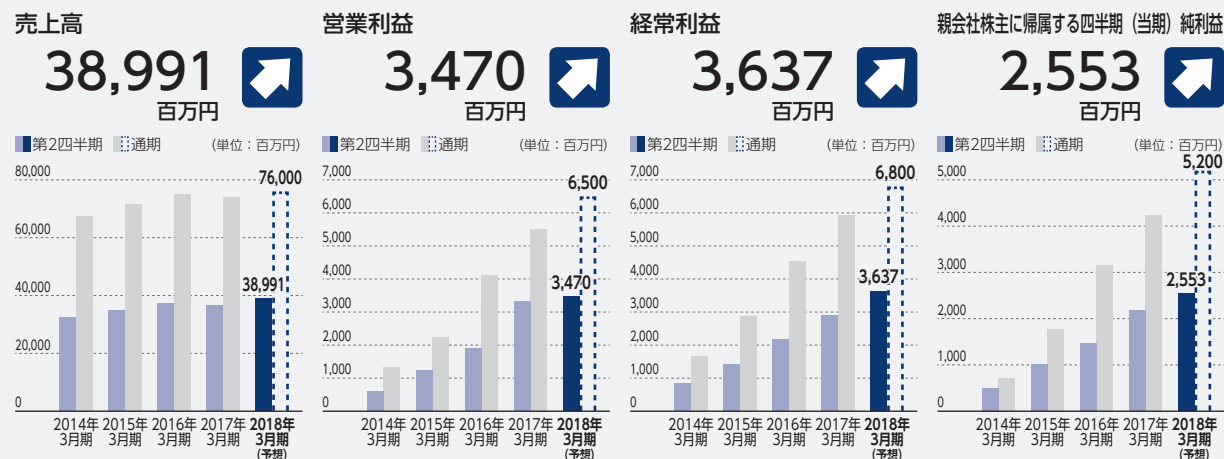
2018年3月期業績予想

売上高	76,000百万円 (前期比2.7%増)
営業利益	6,500百万円 (前期比17.9%増)
経常利益	6,800百万円 (前期比14.6%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,200百万円 (前期比22.9%増)

配当金の推移



■ 連結業績ハイライト



業績についての詳細はこちらもご覧ください

⇒ <http://www.shinpoly.co.jp/ir/highlight.html>



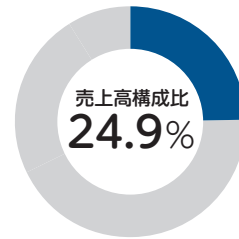
## 事業の概況

### 電子デバイス事業

売上高  
**9,698**百万円  
(前年同期比3.5%増)

#### 自動車関連入力デバイスの順調な出荷により増収増益

自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続ぎ、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。  
この結果、当事業の売上高は96億98百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は8億51百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

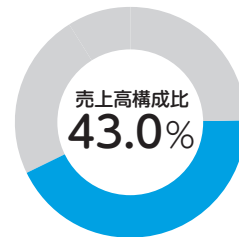


### 精密成形品事業

売上高  
**16,770**百万円  
(前年同期比8.4%増)

#### 半導体関連容器の出荷が伸長して増収増益

半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。  
この結果、当事業の売上高は167億70百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は25億8百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

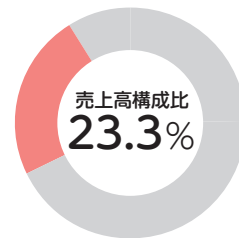


### 住環境・生活資材事業

売上高  
**9,094**百万円  
(前年同期比7.5%増)

#### 塩ビパイプ関連製品の受注量の確保や、機能性コンパウンドの好調な推移により、増収増益

外的環境が非常に厳しい中、価格改定や新製品拡販に努め、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。  
この結果、当事業の売上高は90億94百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は80百万円（前年同期比358.8%増）となりました。

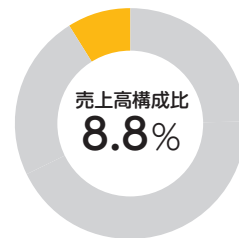


### その他

売上高  
**3,428**百万円  
(前年同期比6.0%増)

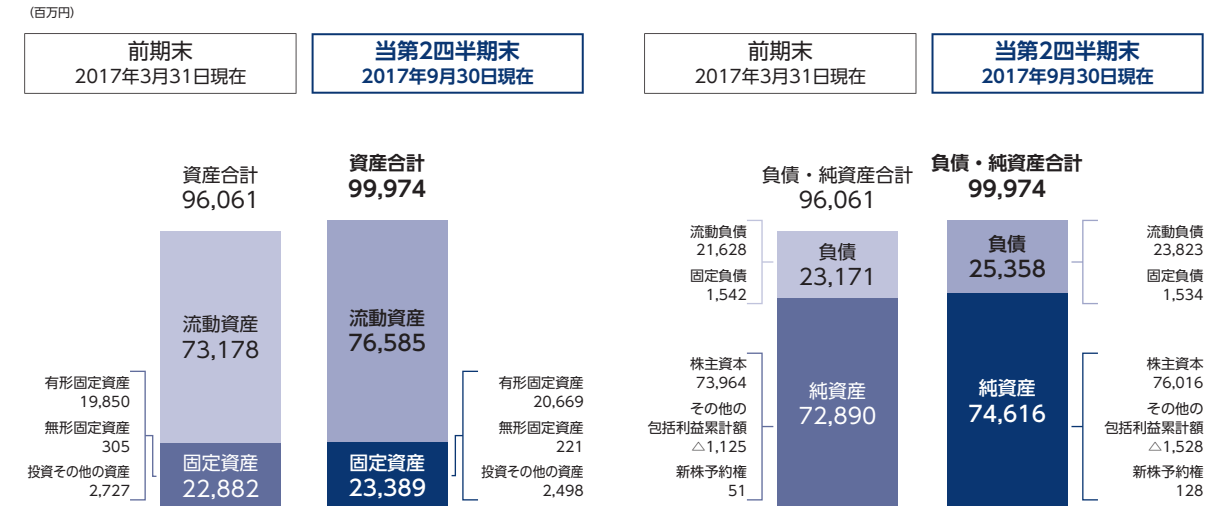
#### 工事関連の安定受注により増収

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件を安定的に受注するなど、全体として、売上げは前年を上回りました。  
この結果、その他の売上高は34億28百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は29百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

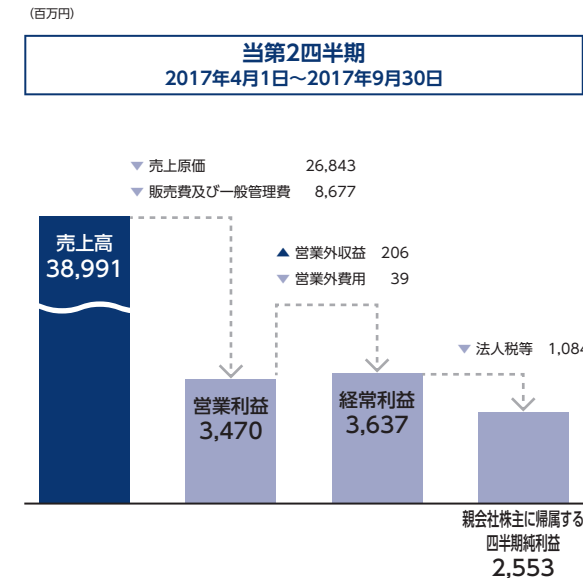


## 連結財務諸表の概況

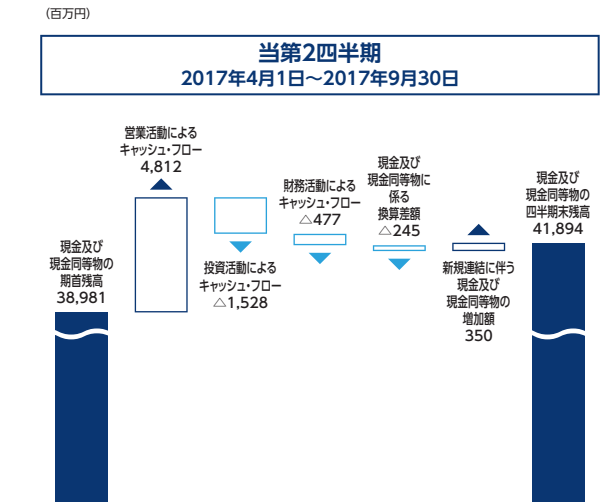
### 連結貸借対照表の概要



### 連結損益計算書の概要



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要





## トピックス

### 高機能エンプラフィルムの薄膜加工技術を開発、「Shin-Etsu Sepla Film®」の量産体制を構築

当社は、高機能樹脂のポリエーテルエーテルケトン（PEEK）をフィルム状に薄膜加工する技術を開発し、無延伸製膜の低結晶及び高結晶の2品目を「Shin-Etsu Sepla Film®」として、7月から本格的に販売しています。当社の強みは、極薄フィルムを安定的に高い均一性で提供できることです。スピーカーダイヤフラムなどの用途に向けて同フィルムを供給しています。東京工場では、最大フィルム幅を従来の650ミリメートルから1,300ミリメートルまで対応可能にした量産体制を整えました。



厳しい難燃性が求められる航空機部品に加え、高い耐熱性や耐薬品性が求められる医療機器や自動車部品など、部品を構成する素材に厳しい特性が求められる産業分野へ提案活動中です。

### インフラ、メンテナンス市場に参入



当社は、自動車・OA機器など信頼性が要求される分野に多くのシリコンゴム加工製品を提供しています。長年培った加工技術で耐候性、耐寒性、耐熱性の優れた特性を持つシリコンゴムをインフラ、メンテナンス現場で使いやすい形にした製品を提案中です。7月に東京ビッグサイトで開催された「インフラ検査・維持管理展」では、東日本旅客鉄道株式会社様との共同開発の成果と共に出展しました。

「切る、貼る、巻く、簡単施工、貼りつくシリコン」をキャッチコピーにインフラ維持に最適な各種補修資材を提案

### 「環境・社会報告書」から「サステナビリティレポート」に変更し、環境保全及び社会活動を報告

1年間の当社グループの環境保全及び社会活動についてまとめた報告書が完成しました。従来の「環境・社会報告書」を今年度版から「サステナビリティレポート」として発行し、より持続可能な社会の実現のために、単に技術的な問題だけでなく、当社グループとして取り組むべきことを整理し、情報を開示していきます。特集では、環境配慮・貢献製品の紹介のほか、昨年に続き、既存技術の一つである「薄膜技術」についてまとめたページを設け、様々な市場で事業展開し、社会に貢献していることを紹介しております。

装幀は、世界の絶滅危惧種の中から草原に生息する生き物たちを、地球に見立てた円の中に描き、当社の頭文字「S」で地球を包みました。今後4年にわたって絶滅危惧種をシリーズ化して紹介していきます。



## 株主アンケート結果報告

第57期報告書においてお願いいたしました「株主アンケート」に多くの株主の皆様からのご回答を頂戴いたしました。心からお礼申し上げます。株主の皆様からいただきましたご回答内容を真摯に受け止め、今後の本報告書の発行、またIR活動に活かしてまいります。

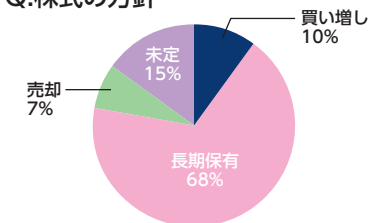
### Q.性別



### Q.年齢



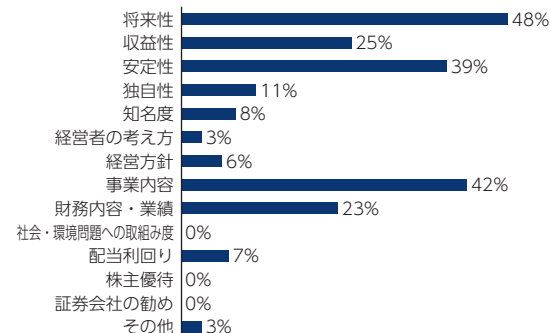
### Q.株式の方針



### 皆様のご意見に関する当社の回答

- Q** 会社の事業内容をもう少し詳しく掲載していただくと、どんな仕事をしている会社なのかわかりやすくなると思います。
- A** 当社の事業は、いわゆるB to Bビジネスが中心であり、一般の方が事業内容に触れることはあまり多くありません。そのような中、当社ホームページ等を使った広報活動により、事業内容の紹介に努めております。本報告書では、紙面の都合もありますが、できる限り事業の内実を紹介できるように心がけてまいります。
- Q** 配当や自社株買いなどで株主還元を増やし、株価の持続的な向上につなげてほしい。
- A** 当社は、お客様、株主様からの信頼をベースに、業績を伸ばし、収益を高めることで、株主様へ還元していくことを基本としております。配当方針につきましては、安定配当を念頭に、業績が良い時でも、業績が厳しい時でも大きく増・減配せず、一定水準の配当を保ってまいりました。業績や持続的成長に向けた投資などを総合的に考え合わせて、今後の配当を行ってまいります。

### Q.当社の株式を購入された理由は



### Q.今後、充実を希望する情報は

